



願い込め ぼん天奉納

「御嶽さん」の冬祭り

老方地区の伝統的な冬祭り「御嶽神社」のぼん天奉納が一月五日、ジョヤサ、ジョヤサの掛け声も勇ましくにぎやかに行われました。

もともと、同神社祭典は、一月十九日に行われていたのですが、出稼ぎ者の増加に連れて継続が危ぶまれてきたことから正月に繰り上げて行われるようになったものです。最近では、大人に混じって、おそろいのはんてんを着込んだ子供たちのえびす俵も出、祭りを一層盛り上げています。

色とりどりの布や色紙で飾られたぼん天やえびす俵は、若衆にかつがれてほら貝の音を先頭に通りを練り歩き、氣勢をあげたあと、暖冬で例年より雪の少ない参道を進み神社へ。各ぼん天は、ぼん天唄をうたい、ほら貝を吹き鳴らし、社殿入口での二度、三度にわたるもみ合いを突破して入社。五穀豊じよう、家内安全などの願いを込め、馬頭観音を祭った「御嶽さん」に無事奉納されました。

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

臨時議会

蔵・老方両小を 4月から統合

宮の前に新校舎建築

第一回町議会臨時会は、一月二十七日に招集され、蔵、老方両小学校を五十九年四月から統合する町立学校条例の一部改正と五十七年度町一般会計補正予算について審議。条例改正は、無記名投票の結果、賛成九、反対七で可決、補正予算も原案どおり可決されました。これにより、町では、五十八年度に統合校舎建築を進めていくこととなります。可決案件の概要は次のとおりです。

【町立学校条例の一部改正】

昭和五十九年四月一日から

蔵小学校と老方小学校を統合して「蔵老方小学校」とし、校舎の位置は「法内字宮の前

二百四十三番地」にすることをした。

【昭和五十七年度町一般会計補正予算(第九号)】

歳入歳出予算の総額にそれ

ぞれ百九十九万四千円を追加し、歳入歳出それぞれ二十三億七千六百二十九万九千円とした。

歳出補正内訳は、統合小学校用地調査にかかった▽上の山地区測量設計委託料百四十六万四千円▽ボーリング調査委託料五十三万円。

また、統合校舎建設地の地質調査及び校舎建築設計に関する債務負担行為限度額を千四百四十九万九千円とした。

蔵・老方小統合協議の経過

蔵・老方両校統合校地の選定について、十二月二十八日以降の協議経過概要は次のとおりです。

〔12月28日〕 町長は、十二月二十日の合同協議会で議会の二候補地に絞ってほしいという要請に沿い、校地選定について教育委員会と協議した。

〔1月4日〕 町長は、二候補地の選定について、教育委員会の意見を文書で求めた。

〔1月6日〕 町では、用地

協力について、島地区地権者から意向を聞いた。

〔1月10日〕 教育委員会は町長に、校地について▽田子の沢▽宮の前——の二地区を候補地とすべきと文書回答した。

〔1月11日〕 町、議会、教育委員会合同協議会
○ 町長は、候補地として教育委員会の意見をもとに▽田子の沢▽宮の前——を提示した。

○ これに対して更に、議員一部から候補地として田子の

交通災害共済

万-に備えぜひ加入を! 2月から受け付け開始

昭和五十八年度の交通災害共済の受け付けが二月一日から始まり、交通災害共済は、秋田市を除く県内八市と六十町村に住む人たちが、お互い掛け金を出し合い、不慮の交通事故の被害者を救済しようとする。

この制度は強制でなく任意加入となっていますが、掛け金が一人年三百円と安いこと、加入・災害共済金請求の手続きが簡単なことや、支払いが早いことなどが特長です。災害共済金は、自動車・オートバイ、自転車などに乗車中または歩行中に、交通事故などにより死傷したときに支給されます。

傷害)から八十万円まで、傷害の程度により違います。また、この交通災害共済には、交通遺児等奨学援助金制度が設けられています。これは、加入しているお父さんやお母さんのいづれかが交通事故によって死亡したり、共済金額表の二等級(重度の障害)に該当したときは、その人の遺児に幼稚園から高校卒業(四歳から十七歳)まで一人月額四千円が支給されます。

をしてほしいと要請された。

〔1月24日〕 議会全員協議会(町、教委出席)

○ 町は、上の山地区に関し、沢地を外して東側の田地の方に延ばすこととして試算すると、校地造成費は取り付け道路を含め四億八千四百万円になると説明した。

○ 町長は「両地区が合意した地点を尊重すべきと思うが、造成費が高額なため、上の山地区はあきらめざるを得ない。宮の前に協力を願いたい」と述べた。

○ 協議会では「財政的に上の山地区は無理と判断せざるを得ない。宮の前地区とすることで止むを得ない」という

意見が多く出された。

〔同〕 教育委員会は町長に「昭和五十七年度に蔵・老方両小統合校地として『法内字宮の前二四三番地(代表地番)』の土地の取得及び学校建築をされたい」と申し出た。

〔1月27日〕 第一回町議会臨時会
○ 町長は、教委委員会の申し出を受け、五十九年四月から蔵・老方両校を統合し、位置を「宮の前二四三番地」とする町立学校条例改正案を提案し、議会はこれを可決した。

以上が十二月二十八日以降一月二十七日までの経過です。

楽しく飲んだ一杯で、悲しい事故を起こさぬよう!



- ▷...飲んだら乗らない.....◁
- ▷...乗るなら飲まない.....◁
- ▷...乗るなら飲ませない.....◁

申し込み用紙は、自治会長さんを通じて配布しますので、万-の事故に備え家族全員が加入しましょう。詳しいことは住民課交通災害共済係へお問い合わせください。

防災の誓いを新たに

無火災祈りくす玉開放

新春恒例の町消防出初め式は、一月六日八塩小体育館で行われ、関係者、来賓合わせ二百人余りが出席し、無火災と防災への誓いを新たに一年のスタートを切りました。

今年も昨年同様、暖冬であけ、この日も好天に恵まれ出



今年一年の無火災を祈願し、町長がくす玉を開放

げました。

観閲のあと、消防功労者、協力者(団体)に表彰状や感謝状が贈られ、続いて、告辞に立った町長は「消防の基本理念は、自分の郷土は自分の手で守る」ということである。この認識と覚悟を新たにすることが年頭の出初め式であり、団長はじめ幹部の指導のもと、郷土東由利の一年間の無火災と万一の災害発生時の対応にがんばってほしい」と述べ、関係者の一層の活躍を期待しました。

このあと、佐藤団長から訓示があり、由利地方部長、町議会議長、本庄警察署長、本庄地区消防事務組合消防長からお祝いと激励のことが寄せられました。これに答え、受彰者を代表して第五分団長の佐々木善一郎さんが「幹部を中心に、今後ますます消防精神を堅持し、一致団結、町民の生命と財産を守るため、一層精進する」と答辞を述べました。

りです。カッコ内は所属分団等。(敬称略)

【知事表彰】(有功章)・佐藤 侑(三)・高橋隆男(本部)

・畠山昭雄(同)・高橋義男(三)

・佐々木善一郎(五) (20年勤続章)・畠山節雄(五)・小松正武(一)

【県消防協会長表彰】(功労章)・鈴木博(五)・斎藤良悦(一)

・大日向淳男(四)・小松賢悦(二)・高橋重四郎(二)

・太田久(四)・阿部善孝(四)

・小野幸夫(三)・畠山与一(一) (精勤章・10年)

・工藤実(四)・小松利和(三)

・鈴木富男(五)・小野真一(五)・高橋誠一(二)・大庭幸夫(五)・大庭時晴(五)

・大庭喜一郎(五)・小野源一(四)・阿部義夫(四)・遠藤典(二)・長谷山清志(三)

【県知事感謝状】(消防施設用地協力者)・小松政治(下通)・佐藤与吉郎(館西)・佐藤要次(中通)・高橋勇孝(新町)・畠山貞一郎(袖山)

・遠藤春男(小倉)・長谷山英士(時雨山)・高橋重四郎(館谷新田)・小松フサ子(五海保)

【消防庁長官賞状】(元消防団員)・石綿国雄(元本部)

・小野稔(元三)

【知事表彰】(消防協力団体)・法内婦人消防隊・蔵新田婦人消防隊

【本庄地区防火委員会長表彰】(消防協力団体)・大琴婦人消防隊

【消防協会本庄市由利郡支部長表彰】(消防協力団体)・大琴婦人消防隊・館合婦人消防隊

【町長感謝状】(退職団員)・遠藤繁(前分団長)・木島久悦(同)・高沢巳一郎(前副分団長)・阿部幹夫(同)

【町長表彰】(模範団員)・小松利和(三)・畑山喜広(二)・小野保(一)・高橋誠一(二)・阿部義夫(四)・小野修治(四)・大庭喜一郎(五)・鈴木富男(五)

【団長表彰】(甲種精勤章)・佐藤敬一(一)・横山武男

(一)・斎藤真一(一)・小松忠孝(二)・小野武志(二)・高橋定敏(二)・小野泰好(二)・畠山昭一(三)・小笠原慶照(四)・伊東剛(四)・阿部法久(四)・大庭信弥(五)・浅田誠(五)・石綿喜代隆(五)・阿部讓治(五)・阿部一久(五)・木島博(五)・畠山和雄(五)・小野恭夫(五)・小松久安(二)・小松文雄(二) (乙種精勤章)

・小笠原均(四)・渡辺健二(一)・小松幸男(二)・遠藤信弘(二)・長谷山久志(三)

・遠藤基(四)・鈴木文一(五)・大庭忠幸(五)・長谷山順一(五)・小野一成(五)・鈴木和雄(四)・横山昌喜(二)・高橋一夫(二)

消防水利が雪で埋まっていますか

集落内にある消火栓や防火水槽などの消防水利は大丈夫ですか。積雪や除雪で埋まっているようなことはありませんか。

万一のときに利用できないと大変です。消防水利は、各自治会でいつでも使用できる状態に確保、管理されますようお願いいたします。



大琴婦人消防隊に表彰状

県少年婦人防火委員会から

大琴婦人消防隊に一月一日、秋田県少年婦人防火委員会(池田竹二郎会長)から表彰状が贈られました。これは、同隊が、防火座談

昭和58年

2月1日
か ら

お年寄りの医療は老人保健で

一部負担があります

この二月から「老人保健制度」がスタートし、七十歳以上（寝たきりの場合は六十五歳以上）の人がお医者さんにかかるときは、今まで加入していた健康保険から切り離され、新しい老人保健制度によって受診することになりました。

老人保健制度は、働き盛りからの総合的な保健対策を推進し、国民みんなが健康な老後を迎えられるようにするとともに、老人の医療費を国民が公平に負担することを主なねらいとしています。

そこで、制度創設の背景と、その主な内容をまとめてみました。

「自助」と「連帯」の精神を基に制度創設

わが国の平均寿命は戦後急速に伸び、現在では男子七二・八歳、女子七九・一歳と世界でもトップクラスの長寿国となっています。

一方、出生率は減少の傾向にあり、総人口に占める老人の割合は世界に例を見ないような速さで上昇し、昭和五十五年に九・一％だったのが、二十年後には西欧先進諸国並みの一五％を超え、四十年後には二〇％を超える本格的な高齢化社会になると予測されています。こうした老人人口の増加に伴って、老人医療費

も急激に増え続けており、昭和五十七年度には、無料化制度の始まった四十八年度の六倍以上の約三兆円に達するものと見込まれています。しかし、その負担には、医療保険各制度間で、老人の加入割合の差による著しい不均衡が生じており、現在のままの制度では、公費による無料化はお

ろか、医療保険制度そのものが崩壊してしまう恐れすらある

老人の医療はこうなります

老人保健からは療養の給付だけ

老人保健制度の医療の対象者は、医療保険の加入者のうち七十歳以上（寝たきりの場合は六十五歳以上）の人です。これは、いままでの老人医療費無料化の対象とおおむね同じですが、所得制限はありません。

医療の開始時期は、七十歳の誕生日または寝たきりなどの状態にある旨の認定を受けた日の属する月の翌月からです。ただし、これらの日が月の初日であるときは、その月から開始されます。つまり、現在どのような医療保険に加入していても、七十歳を過ぎた時点からすべての人が老人保健でお医者さんにかかることになるのです。

ります。しかも、当然のことながら、いま職場の中堅としてバリバリ働いている人も、あと十年、二十年を過ぎると現役を退き、確実に老後を迎えます。

そこで、だれもが安心して健康な老後をおくることのできるよう、「自助」と「連帯」の考え方に立って▽七十歳以

上の老人の医療費を、国と県、市町村、各保険者（5P解説参照）がそれぞれ持ち寄ることにより、国民みんなが公平に負担する▽壮年期からの病気の予防と健康づくりをはじめとする総合的な保健事業を行うというのが老人保健制度です。

ここで注意してほしい点は、医療給付は老人保健から行いますが、その他の点では従来の医療保険が適用されるということです。

従来の医療保険への加入資格はそのまま、現在の被保険者、被扶養者の資格が変わりなく、傷病手当金や葬祭費などの現金給付は医療保険から支給されます。

したがって、保険料も従来どおり納付することになります。

健康手帳と保険証を提示して受診

老人保健制度の医療は、健康保険や国民健康保険を取り扱っているすべての病院、診療所および薬局で受けられます。

老人がお医者さんにかかる場合、これまでは「被保険者証」と「老人医療費受給者証」を提示しなければならなかったのですが、これからは、新しく町から交付される「健

老人（70歳以上）の医療はこうなります

健康手帳を提示



外来一か月ごと400円



入院二か月間
（被保険者は
五十四日間）
一日三〇〇円



40歳以上の人を対象に保健事業が行われます





健康な老後をおくるには、ふだんからの健康管理がたいせつ

「健康手帳」と「被保険者証」を提示して受診することになります。この健康手帳は、医療の受給資格を証明するとともに、健康診査結果の記録や老後の健康保持のために必要な事項を記載し、日常の健康づくりと健康管理をはかろうとするものです。

外来(通院)は月に 四百円を負担

従来、老人医療費は、原則として無料でしたが、老人保健制度では次のように一部負担をしていただくことになりました。外来(通院)の場合は、一つの医療機関に一月あたり四百円を、その月の最初の受診時に支払っていただきます。ここでいう一月とは、月の一日から末日までです。したがって、月の末日に受診し、翌月の一日にも受診したという場合は、それぞれ四百円を支払わなければなりません。

また、一カ月の間に、胃が悪くて内科の病院にかかり、目を悪くして眼科の病院にかかった場合も、病院、診療所が替わることにより一カ月四百円を支払うことになります。総合病院は、各診療科を一つの医療機関として取り扱うことになっています。ただし、医師の指示があった場合は、複数の診療科を受診しても四百円だけ支払えばよいことになります。

入院は、二カ月間 一日三〇〇円負担

入院の場合は、二カ月間に

限って一日三百円の負担をしていただくこととなります。(ただし、被保険者本人が入院した場合は、五十日間限りです)ここでいう二カ月間とは、入院した日から翌々月の入院した日の前日までのことです。いったん退院して再入院した場合は、再入院の日から二カ月間、また一日三百円ずつ支払うこととなります。入院中に七十歳の誕生日を迎えて老人保健の医療に切り替わった人は、切り替わった時点で二カ月以上入院していれば一部負担金を支払う必要はありません。切り替えのと

きに入院期間が二カ月未満の場合は、二カ月までの残りの期間だけ一部負担を支払うこととなります。七十歳を超えていて、老人保健制度が施行される前から入院していた場合も同じように、老人保健に切り替わったときに入院期間が二カ月を超えていけば、一部負担金を支払う必要はありません。また、二カ月を超えていなければ、残りの期間についてだけ支払うこととなります。

老人医療費負担 の不均衡を是正

これまで、老人の加入率の高い被保険者と若い加入者が多く老人加入率の低い被保険者との間には、老人医療費の負担のうえで大きな不均衡がありました。新しい老人保健制度では、老人医療費は国民すべてが公平に負担するという観点に立って、そうした不均衡の是正を図ることにしています。

40歳以上を対象に保健事業実施

健やかな老後を確保するためには、壮年期から病気の予防を心がけ、健康管理に気を配ることがたいせつです。そのため、老人保健制度では、四十歳以上の人を対象に、町が実施主体となって健康づくりのためのさまざまな啓蒙や検診、相談事業を行います。

これらの健康診査や健康教育などの事業を「医療以外の保健事業」といい、事業に必要な費用は、健康診査の実費の一部を受診者が負担するほか、都道府県、市町村がそれぞれ三分の一ずつを負担することになっています。事業の種類は次のとおりです。



※保険者とは……医療保険各法の規定により、医療に関する給付を行う、政府、健康保険組合、市町村(特別区を含む)、国民健康保険組合又は共済組合をいう。

①健康手帳の交付……健康管理上必要と認められる人や健康診査の受診者、また希望する人に交付し、健康診査の記録および健康の保持増進に必要な事項を記載することによって、日常の健康づくりと健康管理をはか

②健康教育……保健学級などの開催により、健康についての自覚を高めるとともに、正しい知識を広める。
③健康相談……医師、保健婦などを講師として健康相談室を開き、助言指導を行う。
④健康診査……循環器を中心とする一般検査(血圧、検

⑤機能訓練……脳卒中などの後遺症からだの不自由な人に対して、機能の維持、回復と日常生活の自立を助けるために歩行訓練などを行う。
⑥訪問指導……在宅で寝たきりの人などに対して、保健婦などが訪問して食事や療養などの指導を行う。
以上が、老人保健制度のあらましです。町では、住民課衛生係がこの制度の担当窓口です。不明な点や詳しいことは、衛生係にお尋ねください。

息づまる熱戦展開

第五回全県スポーツ少年団大会兼第十一回全県ミニバスケットボール教室交歓大会が一月五日から三日間、秋田市由利地区体育館で行われ、本荘・由利地区代表として出場した本町の八塩小学校男子チームは、県下強豪チームを相手に善戦、念願の一勝をあげる大健闘しました。

八塩小は大会初日、一回戦で河辺地区代表の河辺小と対戦。第一クォーター七対三と

ゴール目指して速攻……そののけ、そののけ、八塩が通る

一勝の念願の会

バスケットボール大会



リードのまま迎えた第二クォーターでは、河辺小の追撃にあい一七対一六と一点差に詰り、後半よくがんばり、息づまるようなシューティングゲームを展開の末、三対二で逃げ切り、念願の初戦をものにしました。

二回戦は大会二日目、能代山本地区代表で前大会二位の強豪、浜口小が相手。初戦の余勢を駆って第二戦も手中にと善戦しましたが、今一步及



応援団の声援と横断幕をバックに整列、いざ出陣！

ばず、五一対三五で準々決勝進出はなりませんでしたが。会場には、児童や父兄をはじめ、地域の人たちがおおぜい応援にかけつけ、子供たち以上に緊張の面持ちで盛んな声援を送って選手を激励。応援合戦では、断然他校を圧倒していました。

学校発足一年目にして県大会初戦勝利に、関係者は「来年はベストフォー進出を目指すと早くも次の目標に向かって新たなファイトを燃やしていました。」

熱戦を終えて

悪条件を克服して

校長 齋藤正男

八塩小の歴史に一ページを飾った新春の大会であった。統合以来、諸々の悪条件を克服し練習を重ねてきたが、よくぞここまでやったものと心底より感心するものである。スポーツ、特に競技は相手がある。スポーツを通して「やりぬく心、耐える心、謙虚に学ぶ心」が要求される。

小人数なるが故に極めて層が薄い。しかし、ここに至るまでの皆様のご支援と絶大なご援助、ご指導のたまものと深く感謝するものである。

八塩小発足以来、数々の栄光は、後輩に多くの範を示し与えてくれたものであり、選手諸君に大きな拍手を送りたい。

監督 島山 隆

子供たちのがんばり、伊東コーチの指導、ご父兄の応援などによって、念願の「県大会一勝」を果たすことができました。河辺小との試合は、ベンチにいて本当に胃の痛くなるような、僅差での攻防に終始しました。応援の方々もさぞやハラハラしたことと思います。しかし、その苦しい競り合いを最後まで粘って乗り越えたということは、子

供たちに大きな自信をもたらしたものと思います。皆さん、力強い応援ありがとうございました。ありがとうございました。

コーチ 伊東 實

東由利勢は、三年連続県大会出場を果たし、今年は、堂々初戦を勝ちぬいた。八塩小発足一年目、スタートより花を飾ることが出来た。

今回は、男子チームだけだったので、個別的に指導も出来、三者一体となって県大会にのぞまれたことは実によかった。また、選手管理や昼食のとり方なども的確であり、よかった。

八塩小の今後の発展と、五年生は明日から早速練習に励み、一層躍進されることを祈念する。

コーチ 伊東光昭

三年前の郡市大会、男子チームは二回戦で鶴舞小に逆転負けを喫した。二年前は決勝で鶴舞小に快勝し、非常に強かったが、県大会では残念ながら一回戦を勝ち抜くことはできなかった。

そして今回、郡市大会では鶴舞に惜敗したが、その後のハードな練習によって「弱い弱い」と言われながら、県大会では今だ成し得なかった一回戦を突破した。これはすばらしい記録であり、学校創立初記録でもある。選手たちのがんばりと父兄の応援、先生

方の協力がなくては出来なかっただろう。本当にありがとうございました。

八塩スポ少 代表指導者 小松義嗣

全県大会での一回戦ボーイからの脱却——これが玉米小当時からの夢でした。この夢が、出場三回目にして早くも実現されました。しかも、八塩小誕生の初年度でのこの快挙は、県下に「バスケの八塩小誕生」の名を知らしめたことであり、選手諸君の苦しい練習に耐えぬいて培われた心と体と技のたまものであると心から敬意を表します。出場チーム中で一番小柄なチームであったにもかかわらず、そのファイトには心から感激致しました。今後も一層の飛躍を期待すると共に、関係各位のご努力に心からお礼申し上げます。

主将 菊地 学 (六年)

ぼくたちは、県大会に出場し一回戦勝つことができた。今年で二度目の出場になり、とてもうれしかった。これも、今まで厳しい練習にたえ、いっしょうけんめいがんばってきたからだ。これからは在校生にがんばってもらい、また県大会に出場してもらいたい。小学校最後の良い思い出になった。

選手 八嶋和人 (六年)

郡大会で準優勝し、本荘由



↑ 念願の県大会初勝利を収め、Vサインで喜ぶ八塩小チームの面々

八塩小 健闘！ 県大

第11回・全県ミニ



↑ ハーフタイムに入念な作戦会議



センタージャンプで試合開始……すじ書きのない三十分ドラマの始まり



応援するお母さん方は、選手以上に緊張の面持ち

鮮やかなランニングシュート、これが決まって二点追加



一回戦は河辺でした。ぼくはなんとなく勝てるような感じでした。おもいっきり試合をやり、勝つことができました。

選手 長谷山直人(六年)

ぼくは、全県ミニバスケットボール大会を通じて、多くの人達とあえたことが一番心に残っています。

選手 渡辺 譲 (六年)

利の代表として、ぼくたちは県大会に出場しました。一回戦の相手は河辺小でした。三点差で逃げきり勝つことができたのは、とてもうれしかったです。二回戦で浜口小に敗れてしまい、とても残念でしたが、県大会に出場し一回戦の壁を破れたことは、一生忘れません。

応援席から

応援代表 阿部鈴子(六年)

二回戦の浜口との対戦は、緊張とあせりがひどく、負けてしまいました。一回戦で勝てたことは、小学校での良い思い出になりました。

一月五、六日の両日行われたバスケットの県大会の応援に行った。

一回戦の河辺との試合は、目が熱くなるような良いプレーであった。わずかの差で勝つことができたが、一つのボールを追って五人の心がひとつになる美しさ、ほんとうにすばらしかった。

PTA会長 佐藤智治郎 体育後援会長

残り時間と選手の動きを忙しく目で追い、大きな声援を送っていた観衆が試合終了のピストルの号砲で総立ち。県大会初の一勝に、大きな拍手を送った一瞬だった。

試合結果

〈一回戦〉

八塩 31
8 6 10 7
10 2 13 3
28 河辺

〈二回戦〉

浜口 51
12 12 14 13
19 8 2 6
35 八塩

郡市代表にふさわしく、県下強豪のひしめく中において、礼儀正しく最後まで堂々の戦いをしてくれました。

諸先生方の献身的な指導、学校の協力、町、教育委員会、地域の皆様方の物心両面にわたる御援助に、心から感謝申し上げます。

バスケットボール 小松勝也
親の会 会長

玉米、住吉両校の伝統を受け継いだ八塩小バスケットクラブは、監督、コーチの指導を仰ぎ、力と技を磨き、郡大会では男子準優勝、女子三位の好成績を収め、そのがんばりに心から拍手を送りたい。

新年早々の県大会では、本荘由利の代表として堂々の入場行進。選手と応援団が一丸となり、念願の一回戦の壁を突破したことは、八塩小歴史の一ページを飾り、児童には、小学校生活の中で忘れえぬ思い出となることでしょう。

町当局、地域の皆様のご支援と学校、監督、コーチのご協力に感謝申し上げます。

成人病予防週間
2月1日～7日

動脈硬化は十代から

正しい知識で予防しよう

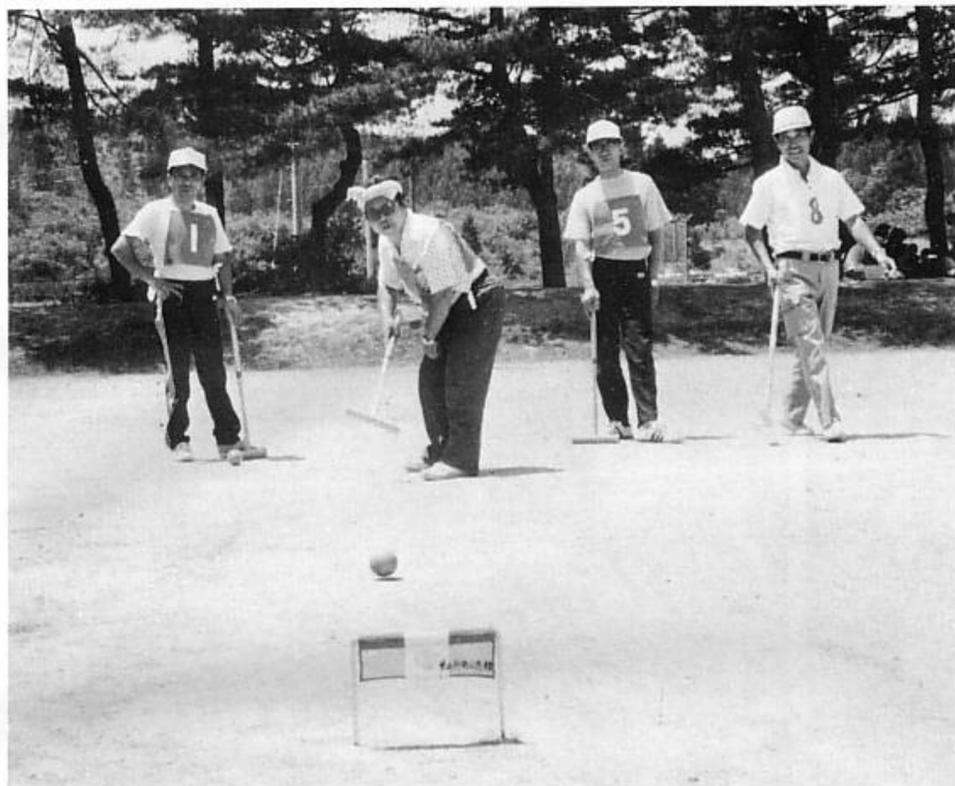
昨年の町報六月一日号で紹介しましたように、町保健婦が取りまとめた町死因統計によると、病死原因の上位三位は「心臓病」「脳卒中」「ガン」で、全体の約七割を占めていることが明らかになっています。

これらの病気に共通しているのは、社会や家庭で重要な地位につき始める四十歳くらいの人から次第に多く見られるようになる、ということなのです。

成人病とは、特定の病気をさすのではなく、このような働き盛りの人を襲う病気の総称です。

二月一日から七日までは「成人病予防週間」。寒さがピークとなるこの時期は、成人病のうちでも脳卒中、心臓病をはじめとして、「血液の通り道」にかかわる病気が多くあります。これら循環器系の病気は、一度かかると治りにくい病気ですが、日常の食事や運動などに気をつけることでかなり予防できます。

かかってからよりも、かかる前に病気を正しく知って、予防に努めましょう。



この健康いつまでも……病気は正しい知識で予防しよう

恐しい循環器系の病気

循環器系の病気には、主に次の二つがあります。

脳卒中

脳卒中は「脳いっ血」「中風」「中風」とも呼ばれ、脳の血管が破れて出血したり、あるいはつまって血液が脳に行き届かなくなる病気です。

この病気にかかると、脳の働きが衰え、急に意識がなくなったり、手足が動かなくなったりし、ひどいときには死亡することがあります。一度、脳に障害を受けると回復は難しく、手足のマヒなどの後遺症が残る場合もあります。

心臓病

心臓に血液が十分に行き届

かなくなり、心臓の筋肉が酸素不足になって起こります。

一時的に血が流れなくなるのが「狭心症」、完全に流れなくなると心臓の筋肉が活動しなくなるのが「心筋梗塞」といわれます。

いずれも、激しい胸の痛みがあります。心筋梗塞では痛みが長く続き、死亡することがあります。

成人病の元凶

高血圧と動脈硬化

脳卒中、心臓病にかからなためには、高血圧や動脈硬化を防ぐことが大切です。というのは、脳卒中や心臓病は、高い血圧に耐えきれず血管が破れたり、動脈硬化で血管がつまることが原因と考えられるからです。

高血圧の予防

血圧を管理しよう

血圧の高い状態が続くと、脳卒中や心臓病などの病気が起こりやすくなります。

血圧は、気温、運動量、精神的なストレスなどで変わります。一回の測定では「高血圧」かどうかは分かりません。機会をみては血圧を測り、変化をつかんでおきましょう。血圧には下図のような目安があります。

高血圧の予防には、減塩や栄養のバランスを保つなどの食生活の改善が必要です。また、適度な運動を日常生活の

中に取り入れていくよう心掛けましょう。

動脈硬化の予防

タバコ、アルコール、カロリーの取り過ぎにご用心

動脈硬化になると、血管は弾力がなくなってモロくなります。原因は、血管の内壁にコレステロールや中性脂肪がくっつくことです。

動脈硬化は、十代に始まり年を取るにつれて、硬化の範囲が広くなり硬化の度合いも高まるといわれています。カロリーの取り過ぎや、タバコの吸い過ぎ、酒の飲み過ぎが拍車をかけることが分かっています。暴飲暴食は慎みましよう。

日常生活での注意点

循環器系の病気から身を守るには、日常生活でのちょっとした注意が役立ちます。例えば次のようなことに気をつけましょう。

①精神の安定を保ち、急激な運動を避ける。

心配、怒りなどの精神的緊張は、血圧を高め、脳卒中や心臓発作の引き金となります。また、体力以上の運動は危険ですから、体力に合わせてマイペースで楽しんでください。

②寒さから身を守る。脳卒中や心臓病で倒れる人が冬場に多いことから分かるように、循環器系の病気にとって寒さは大敵です。戸外へ出るときは、温かい服装をし、寒い風に長い時間吹かれないようにしましょう。

また、夜間にトイレに行くことも、できれば避けたいものです。寒さを防ぐには、トイレにストロープを持ち込む工夫などをお願いします。

③便秘にならないようにする。トイレで脳卒中を起こすケースが多いのは、寒さばかりでなく、排便に力んで血圧が急に高くなってしまいうからです。

野菜や果物など繊維質の食品を多くとり、毎日決まった時間にトイレに行くなどして、日ごろから便通を整えることを心掛けましょう。

④長湯は禁物！お風呂はぬるめにするとも、あまり長い時間入らないようにしましょう。温度は夏が摂氏三十九度、冬が四十一度ぐらいが目安です。冬場は一番ぶるを避け、浴室が暖まってから入浴するよう心掛けましょう。

血圧区分

高血圧	境界域高血圧	正常血圧
最大血圧		
140mmHg未満	140mmHg以上160mmHg未満	160mmHg以上
最小血圧		
90mmHg未満	90mmHg以上95mmHg未満	95mmHg以上



かつてわが国には厳父慈母という言葉がありました。厳しい父親といつくしみ深い母親という意味です。夏目漱石の作品には明治から大正の初めにかけての都市の家庭の雰囲気がよく描写されています。



記憶していることが多いと思います。しかし最近甘父甘母になったという人がいます。父親は子供を甘やかすようになり、母親は子供に干渉しがちであるということを示しています。干父甘母と

東京都立大学教授 詫摩 武俊

父親の権威

父親は奥の部屋にいて子供たちとはめつたに口をきくこともありません。その威厳のある父親が子供を叱(しか)ると、母親がとりなしてくれたり慰めてくれたりしていました。昭和一ケタ生まれの人のなかには、このような父親の姿を

ろなことが考えられます。父親の余暇時間が増え、子供と接触する機会が多くなったこと、男性と女性の社会的地位が接近したことを背景に、家庭で妻や子供に対して威張っている父親よりも、優しく話し相手になってくれる父親

父親は奥の部屋にいて子供たちとはめつたに口をきくこともありません。その威厳のある父親が子供を叱(しか)ると、母親がとりなしてくれたり慰めてくれたりしていました。昭和一ケタ生まれの人のなかには、このような父親の姿を

もいいます。三十年くらい前の父親たちに比べて、いまの父親たちが優しくなり、子供とよく遊び、子供の世話をよくするようになったという大きな傾向はだれもが認めることです。このようになった理由にはいろいろ

の方がいいと思われるようになったこと、などが主な理由でしょう。子供に敬遠され、畏怖(いふ)されている父親が少なくなりました。父親も子供に嫌われないようにと努めています。子供にとって怖い父親よりも優しい父親の方が好ましいのは言うまでもありません。しかし家庭での教育を考えた場合、父親にはときどき「それは絶対にいけない、認めることはできない」ときっぱり

「省エネルギー」は「純国産エネルギー」

二月は省エネルギー月間です。あらゆる面でエネルギーの無駄を省き、できる限り効率的に使う「省エネルギー」は、いわば国民一人ひとりの知恵と努力と心掛けによる「純国産エネルギー」ともいえます。雪国の秋田では、

家庭のエネルギー使用が一番多い時期。この機会に、一度暮らしの中で無駄なエネルギーを使っていないか再点検してみたいかがでしょうか。

1、暖房温度は摂氏十八度に調整を
室温を二度下げることによって、燃料費は一五%〜三〇%節約できます。

2、部屋の保温を
カーテンを天井から床までたらしたり、厚手のカーベツトを敷いたり、目張りをするなど、保温に心掛けましょう。

3、暖房機器の使用方法来工夫を
暖房機器は部屋の大きさに合わせて、また暖房してある部屋はサーキュレーター等で空気を循環させ、効率よく使いまししょう。

4、電気コタツの上手な使用を
コタツ敷や厚手のコタツ掛けを用い、使わないときはスイッチをこまめに切り、無駄なく使いまししょう。

5、太陽の恵みを
晴れの日には太陽熱を取り入れるとか、暖房機器を小さなものに切り替えるかして、エネルギーを節約しまししょう。

6、瞬間湯沸器の使用方法来工夫を
瞬間湯沸器の口火をこまめに消し、お湯を沸すときや煮物等にはできるだけ暖房機器を利用し無駄なく使いまししょう。

7、風呂は上手に使いまししょう
風呂は追いだきしないように家族が間を置かず入浴し、残り湯は洗濯等に有効に使いまししょう。

8、住宅には断熱材の使用を
新築、増改築には断熱材の使用をお勧めします。暖房費は半分程度も節約できます。

9、マイカー利用に工夫を
時速四十キが経済速度です。これより速度を上げても下げても消費量は増えます。六十

10、家庭でのエネルギー管理を
日ごろの省エネルギー努力をチエックする意味でエネルギー家計簿をつけまししょう。

後田随想



税務課長 嶽石文男

一方、町で使うお金を一人当たりに換算しますと、税金の約十四・五倍の三十五万円になっています。このように、入ってくるお金の八三%ほどを他に依存している本町では、唯一の自主財源である町税一億五千万円を、より効果的に使うことが町民の福祉につながると言えます。本町では、納税者皆様のご協力によりまして、町税完納連続十七年の輝かしい成績を残しています。今後、さらにこれを継続していくため、次のことについて一層のご協力をお願いするものです。一、納期内に納付を……督促や催告に要する経費、未納になっている税額分を他から借入れしたときの利息等が節減されまます。二、税の申告書は、できるだけ自分で記入するとともに、正しい申告を……税に対する不満もなくなり、納期内に納付する意識にもつながると思えます。三、たばこは、町内の小売店から買って……二十本入り一箱から約二十五円の消費税が町に入ってきます。(町税の一〇%に当たる千五百万円を見込んでいます)四、立木を伐採、あるいは売却した方は正しく申告し、木材引取税の納付を。五、家屋を取り壊したり、バイクを廃車したときは、直ちに届出を……資産税や軽自動車税の不利な課税がなくなります。税は、納税者の負担能力に応じて納めていただくことが原則です。そのために私も職員は、常に慎重な態度で課税事務に従事していますので、今後も税に対する正しいご理解とご協力をお願いします。

町長日記

三校目の統合小学校の設置条例が、一月二十七日の臨時議会で承認されました。

昭和三十一年に文部省は

学校統合の方針を示しており、その構想は大規模校志向であつて、当時の国の財政事情から学校数の縮少を意図されたと思います。このために大型統合が無理だつた市町村の現場では、紛争と教育の低下が起きたケースが出て参りました。

本町の小学校統合は、町村合併直後からの懸案でしたが、実際問題として取り組んだのは、中学校統合の直後からです。

いろいろな発想を経て、全町一校という構想になりました。今にして思えば、各地域のデメリットが平均化されることと、まだ残っていた大規模校志向が一致した結果でありました。この一校案に純粹の立場で反対意向を打ちだしたのは、現場の教師でありました。1、小学校を中心とした教育社会が機能する範囲は地域的に限界がある。

2、一町村一校は、教育行政にも現場担当の教師にも意識の向上が生まれてこない。などの点が主張されました。

また、住民の立場から一校案は、学校という現場機能だけを求める構想であるという反論があつた訳であります。そして、たまたま文部省からも大規模校路線が変更になりました。

三校構想の最後の蔵、老方校の設置力所であり

が、両地区の住民代表の協議を尊重し、その協議過程の中で当局案であつた蔵小の現校地案を候補地から除外するという了解が生まれ、当局もこれを認めて、五候補地(実際は六候補地)から二カ所に絞り、最終的に宮の前地区に決まりました。

昨年六月以来、協議に協議を重ねた結果であり、議会の採決は賛成九票、反対七票でありましたが、今後執行に必要な予算は満場一致で採決されました。

審議の中で議会から、蔵地域の活性化についての意見、老方地区からの通学に対する意見が出ました。

税の申告相談は次の日程で

税金の申告相談を次の日程で行います。申告書は、町・県民税等の賦課資料となる大事なものです。昭和57年中の収入明細や支払証明書等を準備し、正しい申告をしましょう。出稼ぎ者や会社員等で勤務先から源泉徴収票を交付されている方は、確定申告をすることによって、納め過ぎた所得税がもどされることもあります。詳しくは、税務係にお尋ねください。

受付		午前(9時から11時まで)		午後(1時から3時まで)	
月	日	自治会名	会場	自治会名	会場
15	火	向田、智者鶴(松台除く)	向田会館	葦沢、黒淵、地下ノ沢	八塩館
		池ノ河、松台	池ノ河会館		
16	水	田代、石高	福祉館	高戸屋、下小屋、時雨山	福祉館
17	木	三税共同申告相談	有鄰館	午前と同じ	有鄰館
18	金	新沢	会館	須郷田	児童館
		松柴	会館	板戸	会館
19	土	所得税	役場	午前と同じ	役場
21	月	所得税	役場	午前と同じ	役場
22	火	下通、湯出野、寺田、茂沢、上里	役場	新町、横小路、上通、中通	役場
23	水	家ノ下、下小路、宇戸坂、館西	玉米支所	八日町、五海保、山崎、久保	玉米支所
24	木	祝沢	会館		
		横渡、岩館	大蔵館	蔵、新田、島、宮ノ前	大蔵館
25	金	小倉	児童館	中ノ沢、高村	小倉児童館
		野田、新処	克雪センター	十二ノ前、桂台	克雪センター
26	土	黒沢、大台	黒沢会館		
28	月			宿	会館
		袖山	児童館	下吹	会館
1	火	館合新田	会館		
		須郷	自治会長宅	大吹川	会館
2	水	高屋	会館	土場沢	会館
		舟木	会館	畑村、奥ヶ沢(2時まで)	舟木会館
3	木	大琴(上・中)	高瀬館	大琴(下)	高瀬館
4	金	所得税	役場	所得税	役場

東由利の地名

= 32 =

法内の小倉をはじめ、老方の倉、舟打場の坪倉口と坪倉・赤倉の沢など、倉のつく地名がいくつもある。

倉は蔵・庫とも書き、穀物や家財道具を火災・盗難などから守って、安全に保管しておくための建物で、土蔵・板倉・校倉などの種類がある。

この倉は万葉集や古事記にも出てくるので、古くから使われていた文字だが、東由利の倉は倉庫に關係した地名とは思われない。例

小倉・倉 ①

例えば、小倉には災害など非常用のため、枳などを貯蔵する郷倉が江戸時代に建てられ、昭和のはじめまで遠藤猪一郎氏旧宅の屋敷の一部にあつた(この郷倉はその後法内全部を一カ所にまとめ、新処に建てかえたのが今でも残っている)。

地名の多くは「深い谷や絶壁」それから転じて「絶壁のある山」などをあらわす名になっているようである。例えば、「稲倉岳」は鳥海山西側の象潟よりの山で、奈萱川はこの山すその沢が源になっているが、この川にそそり立つ斜面は数百メートルの絶壁で、犬ワシなどの生息地ともなっている。

また、小倉の倉とは違うクラの使われている地名で、同じ意味と思われるのは、牛若丸で有名な京都の鞍馬山の名だが、ガケの意から(文・畑山昭一)

2月のこよみ

陰曆異名・如月(きさらぎ)
 誕生花・スイートピー(恋のたのしみ)
 誕生石・紫水晶(アメジスト)(誠実)

曜日	行事
1 火	県農業基本調査期日
2 水	
3 木	
4 金	育児学級・愛育班研修集会(1:30 有鄰館) 民生委員協議会(朋楽荘)
5 土	
⑥ 日	
7 月	ナイタースキー教室(～10日)
8 火	
9 水	1歳6カ月児健康診断(1:30 有鄰館)
10 木	栄養改善講習会(9:30 有鄰館)
11 金	建国記念の日
12 土	
⑬ 日	
14 月	ことぶき大学(9:00 有鄰館)
15 火	
16 水	育児学級(9:30 有鄰館)
17 木	
18 金	貧血改善学級(9:30 大蔵館)
19 土	町県民税(4期)・国保税(4期)督促状発送
20 日	出稼ぎ者激励懇談会(東京・都道府県会館)
21 月	
22 火	
23 水	乳児健康相談(1:30 有鄰館)
24 木	畜産講演会(9:30 有鄰館)
25 金	妊婦健康相談(1:30 有鄰館)、農業委員会
26 土	
27 日	
28 月	
29	
30	
31	
摘要	2月15日～3月4日 税の申告相談

おしらせ

町の概要

人口総数	6,297人
うち男	3,111人
うち女	3,186人
世帯数	1,441戸
面積	148.51km ²
(57.12.31現在)	

八塩小に50万円

小松氏(出身)が寄付

本町山崎出身で東京・足立区に住む小松一雄さん(六十歳、小松睦雄さん兄)は、このほど八塩小学校に対し、教育の充実に役立てて—と五十万円を寄付されました。小松さんは、現在、台東区で不動産業を営んでいます。

秋田教弘から

二十万円寄付

児童図書購入費の一部に

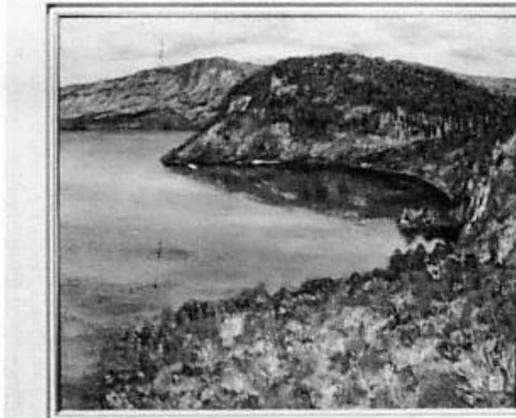
—と、このほど、秋田県教育公務員弘済会関連団体の有限会社・秋田教弘(秋田市)から、大琴小、八塩小にそれぞれ十万円が贈られました。同社は、本町大琴出身の梅津正雄氏(八十一歳、昭和四十六年度町功労者)が代表取締役となっており、生命保険業の代理店としての業務を営むとともに、県下各学校の教育振興のための助成事業も行っているといえます。

町では、思わぬプレゼントに喜ぶとともに、早速、両校図書に充実に役立てることにしました。

阿部氏(出身)から油絵一枚

本町杉森出身で東京・東久留米市に住む農学博士の阿部廣雄氏から、先ごろ、「十和田湖の秋(内藤秀夫氏画)」

と題するF10号油絵一枚が贈られました。(写真)
 町では、早速、役場の応接室に掛けましたので、来庁の際はご観賞ください。



農業基本調査にご協力を

農業の実態を調査し、県や町の農業行政の基礎資料を得

るための「秋田県農業基本調査」が、今年も二月一日現在で行われます。

個々の調査結果は、統計法によって秘密が守られ、個人の不利益にならないよう保障されています。

調査員が各農家を訪問しますので、よろしくご協力をお願いします。

NHK学園 通信教育であなたも学習を

NHK学園では、通信教育の生徒・受講生を募集しています。

働きながら高校卒業の資格をとりたい方に。

・入学資格 中学校卒業・卒業見込み又は同等以上の学力のある方
 ・受付期間 3月1日～4月

15日
 〈高等学校・教養コース〉
 高等学校レベルの知識と教養を身につけたい方に。

・受講資格 15歳以上の方
 ・受付期間 3月1日～4月30日

〈社会通信講座(書道・簿記など12講座36コース)〉
 余暇を利用して、趣味と教養を身につけたい方に。

・受講資格 どなたでも
 ・受付期間 2月1日～4月20日

※ 詳しい案内書をご希望の方は、NHK秋田放送局、またはハガキに、高等学校(普通科コース)・高等学校(教養コース)・社会通信講座別を記入のうえ、左記にご請求ください。

〒186 東京都国立市富士見台二―三六 NHK学園市町村係(電話〇四二五―七二

13151)
 〔新春将棋大会(一月二日、役場会議室、町将棋愛好会主催)〕

・優勝 阿部力さん(本荘市)
 ・準優勝 石渡昇信さん(蔵)
 ・三位 柏木謙さん(秋田市)

慶弔だより

12月21日～1月20日受付

〇うぶ声

佐藤勇樹 黒淵 君栄 二男
 遠藤 梓 大琴 美記雄 長女
 小野めぐみ 湯出野 源一 長女
 佐々木栄幸 大琴 栄 長男
 鈴木正樹 久保 昇 長男

・お悔み申し上げます

小笠原 誠 土場沢 30歳
 大日向三郎 宮の前 49歳
 小松キヨエ 下通 82歳

統計で見るわが町 ⑨

労働力率

市町村名	順位	指標
東由利町	1	73.0%
由利町	2	71.5
鳥海町	2	71.5
県平均		64.4
男鹿市	68	60.3
小坂町	69	59.8

昭和55年10月1日・総理府統計局「国勢調査」
 (注) 労働力人口とは、通学、家事、病気、老齢などによる非労働力人口を除いたもの
 ▶算式

$$\frac{\text{労働力人口}}{\text{15歳以上人口}} \times 100$$

水道普及率

市町村名	順位	指標
大湯村	1	100.0%
東成瀬村	33	81.8
県平均		78.3
東由利町	35	75.4
大森町	36	73.5
六郷町	69	6.7

昭和55年度末現在・環境衛生課「秋田県水道施設現況調査」
 (注) 1. 給水人口を行政区内人口で割ったもの。
 2. 行政区内人口は56年3月末人口
 3. 水道には上水道、簡易水道、専用水道、小企模水道を含む。

